

【伊賀モデル】個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて

資料 4 - 5

見通す

①課題を知る

②課題にどう取り組むかを考える

これまでの学習とどうつながっているのか、どう取り組んでいくかを考える。

③個人で課題に取り組む

たてた見通しに向かって、まずは個人で取り組み、課題に対する考えをもつ。

④仲間と考えを共有し、考えを深め広げる

対話することで、考えを共有・整理し、考えを広げたり、新しい考えを産み出したりする。

⑤仲間と協働し、課題に取り組む

仲間と協働して課題に取り組むことで、問題解決を行う。

⑥全体に成果等を発表し、共有する

クラスの全体に向けて成果を発表することで交流を行う。

振り返る

⑦学びを振り返る ⇔ 家庭学習で続きを行う

学びにおける気づきを記録に残すことで外化し、自分なりの価値を作り出していく。